

令和2年5月7日

保護者各位

校長特別補佐・ICT教育室長 中田 大成

## 休校措置延長後の遠隔学習指導について

4月30日の「臨時休校の延長について」で既にご連絡申し上げましたが、当初本日迄と予定しておりました休校措置を5月31日（日）迄延長することと致しました。新年度を迎えながらも、互いに顔を合わせることもままならない非常事態が続く、生徒そして保護者の皆さまには心身共にストレスフルな日々をお過ごしのことと拝察致します。先行きが見通せず、なかなか出口が見えてこない現状ですが、共に励まし合いながら、今出来ることを一つずつこなすことでこの苦境を脱して参りたいと思いますので、どうか引き続き御協力の程宜しくお願い申し上げます。

さて、生徒たちの学びを保障するべく、新年度開始の4月14日（火）より「インターネットを介した遠隔学習指導」を、段階を踏みながら進めて参りましたが、これを5月11日（月）以降、新たな段階へと推し進めて参ります。遅ればせながら、4月14日に発表した保護者向け説明文書に記しておきました第三段階：双方向ライブ（オンライン）型の指導も適宜織り交ぜた遠隔学習指導に少しずつ移行して参ります。移行に当たっての当面の基本方針は下記の4点です。

### 【移行に当たっての当面の基本方針】

1、Office365 Teams の機能を活用した同期（同時）双方向型（＝双方向ライブ（オンライン）型）の指導は、主としてHRや（グループ・個人）面談で実施する。

ただし、学年によって各家庭のICT環境や生徒のICTリテラシーの水準等が異なるので、同期双方向型指導と称しても、いきなり全学年一斉にWeb会議機能を用いたオンライン対面指導を行うことはせず、個々の学年の状況に応じたレベルの指導から始める。従って、学年によっては、先ずはTeamsの投稿・返信、チャネル機能を用いた指導から始める。

\*中学1年生は、11日にOffice365のID・パスワードを配信するので、同期双方向型指導は他学年より遅れて開始する。

\*既に一人一台iPad（セルラー式）を持ち、高1時に「情報」の授業を受けている高2・高3生とそれ以下の学年の生徒とでは、前提とする条件が異なるので、移行の速度も分けて考える

←先ずはHRや面談で同期双方向型指導を取り入れる理由は、同指導には下記二つの効果が見込めるからである。

①生徒たちの心身のストレスを低減させ、モチベーションを高める効果

（＝HR・面談によるマインドセット）

②生徒たちの生活のリズムを整える効果

2、授業においては、これまでの「一方向資料配信型」・「双方向資料配信・受信型（Stream 機能によるオンデマンド授業動画配信や Forms 機能による質問・課題提出）」の指導をより熟成させる方向で進め、Web 会議機能を用いた同期双方向型のオンライン対面授業は当面は選択少人数授業のような、同授業法と適合性の高い科目などで適宜実験的に試みる。

←オンライン対面授業を一気に全面展開することはせず、慎重に進める事由は下記の3点である。

- ア、オンライン対面授業とオンデマンド映像授業には、どちらにも一長一短（メリット・デメリット）があり、前者が後者よりも無条件に優れているというわけではないこと。
- イ、高1以下の御家庭の中には、オンライン対面授業を受講するに十分な ICT 環境が整っていない家庭が散見され、全生徒の学習権を一律に担保できないこと。
- ウ、今後文部科学省が「家庭学習」の時間を正規の「標準授業時数」（通常1単位当たり年間35時間）にカウントする方向に舵を切る可能性があり、そうなった場合、オンライン対面授業に参加できない生徒の授業時数確保に困難が生じること。

因みに、4月段階における文科省の「家庭学習」についての公式見解（文科省通知（令和2年4月10日）・「新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業等に伴い学校に登校できない児童生徒の学習指導について」）の内容は下記の3点にまとめられる。

- ①、家庭学習も学習状況や成果を確認した上で、学校における学習評価に反映する。
- ②、確認の結果、児童生徒が学習内容を十分に身につけ、再び指導する必要がないと学校長が判断した場合、学校再開後の授業でその分野を取り扱わなくてよい（特例措置）。
- ③、家庭学習時間は、学校教育法施行規則で定める進級に必要な「標準授業時数」には加算しない。

3、Office365 の双方向性機能を生徒会活動・クラブ活動等で使用することは当面は認めない。上記1・2のようにクラス・授業でその機能を活用する場合も、それは教員⇄生徒間での使用に限定する。

\*生徒会活動・クラブ活動に関して顧問の先生などに質問・相談をしたい生徒の為には、従来の学年の「問い合わせフォーム」の中に、新たに「生徒会指導部（クラブ活動関連）」という問い合わせ先を作って対応する。

4、授業実施・課題提供等の情報を日時・間隔等によって分類・整理した形で情報提供する。

←これまでは、担当教員が個別に授業実施・課題提供を行っていたため、生徒たちには五月雨式にそれらが届き、秩序感に欠ける印象が拭えなかったので、今後は出来るだけ整理して情報を届ける。

## 【最後に】

移行に向け下記のスケジュールで準備を進めます。

- 1、5月7日（木）：高2・高3 iPad 用 Teams アプリの配信
- 2、5月7日（木）～9（土）：学年から配信する「Teams 解説教材」に基づき自主学習や実践練習
- 3、5月11日（月）：中1生へ ID と生徒向け教材を配信＋全校生徒へ柴田校長からの激励動画を配信